

第25号 すずかけひろば



〒252-0186 相模原市緑区牧野 1987

TEL(042)689-3145

FAX(042)682-0988

E-mail:suzukakenoie@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/suzukakenoie/>

発行責任者: 宮内真 / 担当: 嘉

夏休み福祉作文より

小学生が見る「すずかけの家」

すずかけの家

三年 丸山 紡

すずかけは、しの原にありま
す。ぼくの家から二分ぐらいで
す。すずかけは、おとしよりが
りようしている所です。

ぼくと晴太くんといきいさんです
ずかけに見学に行きました。

ちく百六十年の家を直すのを
お父さんも手伝いました。お父
さんが直した場所はげんかんと
トイレとおふろです。お年よりが
すごしやすくするためです。

土間だったげんかんにスロープ
をつけて登り下りしやすくしま
した。トイレは手すりをつけて
広くしました。車いすが入りや
すくしました。おふろには手す
りをつけてだんさがいないよう
にしています。おふろの中に台を
しずめて登りやすくしました。

はたらいっている人がくふうして
いることは、お年よりがごはんを
食べやすくするためにとろみを
入れました。入れないといはいに
入って病気になるってしまから
す。それから食べ物を小さく切
ります。

はたらいっている人は二十人
です。サッカーのようにしごとを
ぶんとんしています。おふろを
いれる人、ごはんを作る人、庭を
そうじする人、じむの人それぞ
れに分たんがありました。

はたらいっている人がちゅういし
ていることは、お年よりがで
きることほしてあげない、できな
いことはしてあげるそうです。

おとしよりがここでどのよう
にすごしているかというど、おし
やべりしたり、ごはんをいっしょ
に作ったりしています。それか
らおでかけをしています。お花
を見たり買い物に行ったりして
います。

ぼくとはるたくんといきいさん
で歌を歌いました。校歌とふる
さとです。よろこんでくれまし
た。



(紡くんのお父さんは大工さんです)

夏休みに「福祉作文」なるものが宿題に出されます。親も子も「福祉」と言われて途方にくれてしまっているところ、「そうだ、すずかけの家に行ってみよう」とお母さんたちが三人の小学生を連れてやってきました。いろいろ見たり聞いたりして、利用者さんに歌も歌ってくれました。大きな輝くひとみでよく観察してくれました。



ご注意!

すずかけの家は2日目の
12日(月) 11:00~
体育の日のみです

- ♪ 14時~ 芳晴ライブ
- ♪ すずかけ茶屋開店
- ♪ 昔遊びコーナー
綿菓子・紙芝居
- ♪ ぷらたなすマーケット

利用者さんと一緒に作った

ハンドメイド作品も多数販売! ぶさかわ人形たちも勢揃いです。

10月11日(日)・12日(月)

すずかけの家は12日オープン!



10月11日(日)・12日(月)

10:00~16:00

◆土用丑の日はうなぎ！ 7月



「うなぎはやっぱりいいな〜」
「おお、そんなにいっぱい食えないよ〜」

やっぱり精をつけるにはうなぎ！少々贅沢なようですが、このときに食べるウナギは贅沢ではなく必須アイテムなのでは！？元気に夏を乗り切るために。



やりたい！行きたい！
を叶えたい！

『Let's go プロジェクト』【その3】
「生まれ育った街、銀座に行きたい」



銀座にはおおきなつばの帽子が似合います。ウインドウショッピングの姿も雑誌の切り抜きのように。とにかく暑い夏の日でした。

◆すずかけ夏祭り 8月

すずかけの夏祭りは4日続きました。通ってこられる利用者さん全員が夏祭りを味わえるように。週に2日来られる方は二回、4日来られる方は四回。夏祭りはスタッフも利用者さんも浴衣を着ました。そして手作りの獅子舞でみんなの健康を祈ってねりあるきます。夏を乗り切るにぎやかなイベントでした。

ちなみにこの獅子舞はスタッフの小山田さんお手製です。とにかく彼女は作ることが達人！紙を持たせてもペットボトルを持たせても毛糸をもたせても思いもよらぬものに大変身。これからのハンドメイド作品にご期待ください。



◆みんなの元気を祝う会 9月

今年はおでかけではなくすずかけでゲストをお迎えしての祝う会でした。南京玉簾あり、三味線ありのびるっこ保育園児の演技ありのにぎやかな会に多くの利用者さんが集いました。

(安田さん)

(西田さん)

(のびるっこ保育園児)

(ファイト一発おじさん)



スタッフしょうこ画白 作

「年寄くさいのはかなん」というのは八十四歳の私の母のことばです▼実家の町には「長寿苑」という施設があります。そこでは高齢者のために様々なサークル活動が行われています。しかし、そこへは行きたくないというので▼「何がやて名前がいやや！私はそんなに年寄違う。」とのこと▼いくつになっても自分は現役選手であり、原付バイクを乗り回し人の世話こそすれど人にお世話になるなんて受け入れられない、ということのようです▼すずかけでは「敬老の日」はありません。その代りあるのが、「みんなの元気を祝う会」です。いつだって現役、できることはやる！母の気持ちをも代弁してくれているかのように▼母は、この夏手放した原付バイクの代わりに自分の足で歩いて行く、時間はかかったとしても行きたいところに自分で行く、そう電話口で宣言していたのは先日の敬老の日でした。いつまでも現役で！（か）